



2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社アサカ理研 上場取引所 東
コード番号 5724 URL <https://www.asaka.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）山田 浩太
問合せ先責任者 （役職名）上席執行役員 管理本部長 （氏名）巨海 隆 TEL 024-944-4744
半期報告書提出予定日 2026年5月15日 配当支払開始予定日 2026年6月19日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年9月期中間期	5,283	19.8	717	191.7	666	290.8	494	279.8
2025年9月期中間期	4,411	19.9	246	195.7	170	175.4	130	△38.0

（注）包括利益 2026年9月期中間期 560百万円（371.8％） 2025年9月期中間期 118百万円（△50.4％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	98.22	98.02
2025年9月期中間期	25.91	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年9月期中間期	17,099	5,445	31.6	1,074.84
2025年9月期	13,806	4,925	35.4	972.02

（参考）自己資本 2026年9月期中間期 5,411百万円 2025年9月期 4,886百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2026年9月期	—	4.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	8.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	10,750	23.8	1,240	151.5	1,040	142.6	785	161.5	155.99

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

（注2）連結業績予想の修正については、本日（2026年5月15日）公表いたしました「2026年9月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 9 ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年 9 月期中間期	5,144,600株	2025年 9 月期	5,144,600株
2026年 9 月期中間期	109,757株	2025年 9 月期	117,773株
2026年 9 月期中間期	5,029,888株	2025年 9 月期中間期	5,019,690株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第 2 四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示するとともに、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループの主要製品である貴金属のうち、当中間連結会計期間における金の価格は地政学リスクの高まりによる安全資産としての需要の高まりや米国金利の引き下げ期待の高まりに伴う需要が根強く、一時的に下落する局面はみられたものの、高い水準で堅調に推移し、前年同期を上回りました。銅の価格は、生産国からの供給不安やAI普及に伴うデータセンター建設等の要因で需要が高まり、高い水準で堅調に推移し前年同期を上回りました。

このような事業環境の中、既存事業では、回収した貴金属をお客様のニーズに沿った材料に加工して返却する等、当社の技術力を活かした多様なビジネススキームの提案により、新規顧客の獲得や既存顧客の維持・拡大に努めています。また、製造工程の効率化によるコスト低減にも注力しています。

新規事業では、リチウムイオン電池（以下、LiB:Lithium-ion Battery）再生事業の開始に向け、研究開発及び電池メーカーとの事業スキーム構築に注力しています。研究開発の成果として、CO₂排出量の削減とレアメタルの高回収率を両立するプロセスを構築いたしました。プロセスのさらなる安定化及び生産効率の向上を目的とした研究開発を継続しつつ、当社いわき工場の増築及び生産設備の導入を進めています。事業スキームの構築においては、電池メーカーの工場から排出される工程廃材の一部について当社がリサイクル業務を受託する覚書(MOU)に基づき、スキームの確立に向けて関係企業等との交渉を継続しております。

一方で、当中間連結会計期間において、中東情勢の不安定化によるサプライチェーンの混乱により、石油製品やそこから派生する製品の長納期化や価格の高騰が発生しており、当社が導入を予定している設備の一部にも影響が出る恐れがあります。調達先との交渉や調達先の分散等の対応を進め、事業への影響を最小限に抑えるべく対応を進めてまいります。

当中間連結会計期間の連結業績は売上高5,283百万円（対前年同期19.8%増）、営業利益717百万円（同191.7%増）、経常利益666百万円（同290.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は494百万円（同279.8%増）でした。金及び銅の相場上昇等の要因により前年同期比較で増収増益となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりです。なお、売上高については、セグメント間取引の消去前の数値であり、セグメント利益については、セグメント間取引の消去後の数値であります。また、間接部門の経費負担には、LiB再生事業における研究開発費用を含んでおります。

(貴金属事業)

主要製品である金の価格が上昇したことで、売上高は4,403百万円（対前年同期18.6%増）、セグメント利益は565百万円（同420.1%増）の増収増益となりました。

(環境事業)

主要製品である銅の価格が上昇したことで、売上高は741百万円（同28.7%増）、セグメント利益は64百万円（同177.5%増）の増収増益となりました。

(システム事業)

主力製品である品質管理システムの販売が増加したことにより、売上高は125百万円（同14.3%増）、セグメント利益は20百万円（同13.3%増）の増収増益となりました。

(その他)

その他に含まれる運輸事業等は、連結グループ内の取引額の減少により、売上高は172百万円（同0.8%減）、セグメント利益は15百万円（同21.7%減）の減収減益となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりです。

(資産の部)

前連結会計年度末に比べて3,293百万円増加し、17,099百万円となりました。

主な要因は、現金及び預金が740百万円、受取手形及び売掛金が163百万円、棚卸資産が679百万円、建設仮勘定が1,601百万円増加したことです。

(負債の部)

前連結会計年度末に比べて2,774百万円増加し、11,654百万円となりました。

主な要因は、借入金が1,998百万円、借入金地金が424百万円、その他(流動負債)が257百万円増加したことです。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べて519百万円増加し、5,445百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が433百万円、その他有価証券評価差額金が65百万円増加したことです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ840百万円増加し、4,891百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、409百万円の収入となりました(前年同期は309百万円の収入)。

この主な内訳は、税金等調整前中間純利益が636百万円、減価償却費が171百万円、売上債権の増減額が△155百万円、棚卸資産の増減額が△679百万円、借入金地金の増減額が424百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,500百万円の支出となりました(前年同期は1,028百万円の支出)。

この主な内訳は、有形固定資産の取得による支出が1,517百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,931百万円の収入となりました(前年同期は1,579百万円の収入)。

この主な内訳は、長期借入れによる収入が2,100百万円、長期借入金の返済による支出が101百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の通期連結業績予想につきまして、直近の業績動向を踏まえ、2026年5月15日に上方修正しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,150,929	4,891,211
受取手形及び売掛金	543,632	707,375
電子記録債権	29,710	21,644
商品及び製品	2,376,812	2,855,341
仕掛品	579,729	791,238
原材料及び貯蔵品	74,481	64,258
その他	166,925	166,157
流動資産合計	7,922,223	9,497,226
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,990,671	2,985,885
減価償却累計額	△1,605,475	△1,627,641
建物及び構築物(純額)	1,385,195	1,358,243
機械装置及び運搬具	2,912,944	2,925,235
減価償却累計額	△2,328,501	△2,379,201
機械装置及び運搬具(純額)	584,442	546,033
土地	1,362,987	1,362,806
リース資産	38,118	47,466
減価償却累計額	△30,643	△33,114
リース資産(純額)	7,474	14,351
建設仮勘定	2,111,503	3,713,200
その他	269,185	272,700
減価償却累計額	△217,975	△219,679
その他(純額)	51,210	53,020
有形固定資産合計	5,502,814	7,047,655
無形固定資産	55,707	132,300
投資その他の資産		
投資有価証券	207,304	301,636
繰延税金資産	821	831
退職給付に係る資産	76,332	76,356
その他	51,397	44,416
貸倒引当金	△10,231	△550
投資その他の資産合計	325,624	422,691
固定資産合計	5,884,146	7,602,647
資産合計	13,806,370	17,099,874

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	287,589	306,845
短期借入金	202,280	197,280
リース債務	4,202	5,526
未払法人税等	64,470	153,498
借入金地金	2,008,434	2,432,872
賞与引当金	172,496	135,020
その他	346,104	603,978
流動負債合計	3,085,578	3,835,021
固定負債		
社債	330,000	330,000
長期借入金	4,974,326	6,978,186
リース債務	3,960	10,317
繰延税金負債	148,828	178,473
長期未払金	282,496	267,135
資産除去債務	55,431	55,692
固定負債合計	5,795,044	7,819,803
負債合計	8,880,622	11,654,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,295	504,295
資本剰余金	365,741	380,639
利益剰余金	4,016,484	4,450,191
自己株式	△129,248	△118,927
株主資本合計	4,757,273	5,216,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	128,190	193,468
繰延ヘッジ損益	1,768	2,886
退職給付に係る調整累計額	△1,075	△889
その他の包括利益累計額合計	128,883	195,464
新株予約権	39,590	33,384
純資産合計	4,925,747	5,445,048
負債純資産合計	13,806,370	17,099,874

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	4,411,487	5,283,311
売上原価	3,092,876	3,337,102
売上総利益	1,318,610	1,946,208
販売費及び一般管理費	1,072,491	1,228,225
営業利益	246,118	717,982
営業外収益		
受取利息	4,618	12,994
受取配当金	110	189
受取賃貸料	776	28,385
貸倒引当金戻入額	205	5,880
物品売却益	19,922	1,723
為替差益	335	—
その他	1,759	3,959
営業外収益合計	27,727	53,131
営業外費用		
支払利息	22,949	71,085
地金借入料	16,861	27,134
支払手数料	63,531	2,107
為替差損	—	714
その他	2	3,724
営業外費用合計	103,345	104,765
経常利益	170,500	666,348
特別利益		
固定資産売却益	846	—
新株予約権戻入益	214	428
特別利益合計	1,060	428
特別損失		
固定資産除却損	214	28,154
固定資産売却損	—	130
減損損失	2,469	2,100
特別損失合計	2,684	30,384
税金等調整前中間純利益	168,875	636,391
法人税等	38,815	142,362
中間純利益	130,060	494,029
親会社株主に帰属する中間純利益	130,060	494,029

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純利益	130,060	494,029
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,447	65,277
繰延ヘッジ損益	1,356	1,117
退職給付に係る調整額	△133	185
その他の包括利益合計	△11,224	66,581
中間包括利益	118,835	560,610
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	118,835	560,610

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	168,875	636,391
減価償却費	156,672	171,829
減損損失	2,469	2,100
株式報酬費用	4,776	4,483
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△205	△9,681
賞与引当金の増減額(△は減少)	△42,423	△37,475
退職給付に係る資産負債の増減額	△443	243
受取利息及び受取配当金	△4,728	△13,183
支払利息	22,949	71,085
為替差損益(△は益)	△360	△440
固定資産売却損益(△は益)	△846	130
固定資産除却損	214	28,154
売上債権の増減額(△は増加)	90,640	△155,676
棚卸資産の増減額(△は増加)	△774,953	△679,813
仕入債務の増減額(△は減少)	△45,013	19,255
借入金地金の増減額(△は減少)	870,206	424,438
その他	△89,906	40,375
小計	357,926	502,215
利息及び配当金の受取額	5,614	28,065
利息の支払額	△18,751	△67,146
法人税等の支払額	△35,252	△54,129
営業活動によるキャッシュ・フロー	309,537	409,004
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△1,022,248	△1,517,345
有形固定資産の売却による収入	805	12,650
有形固定資産の除却による支出	—	△12,334
無形固定資産の取得による支出	△2,403	△82,796
資産除去債務の履行による支出	—	△83
その他	△4,283	△436
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,028,130	△1,500,344
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,800,000	2,100,000
長期借入金の返済による支出	△101,140	△101,140
社債の償還による支出	△130,000	—
社債の発行による収入	130,000	—
自己株式の取得による支出	—	△12
自己株式の処分による収入	—	10,810
配当金の支払額	△40,227	△60,290
その他	△79,273	△18,185
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,579,358	1,931,181
現金及び現金同等物に係る換算差額	360	440
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	861,125	840,281
現金及び現金同等物の期首残高	890,362	4,050,929
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,751,488	4,891,211

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計 (注) 2
	貴金属事業	環境事業	システム事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,713,539	576,135	110,086	4,399,761	11,725	4,411,487
外部顧客への売上高	3,713,539	576,135	110,086	4,399,761	11,725	4,411,487
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	348	—	348	161,720	162,069
計	3,713,539	576,484	110,086	4,400,109	173,446	4,573,556
セグメント利益	108,707	23,193	18,266	150,167	20,332	170,500

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業等であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計 (注) 2
	貴金属事業	環境事業	システム事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	4,403,203	741,487	125,824	5,270,516	12,794	5,283,311
外部顧客への売上高	4,403,203	741,487	125,824	5,270,516	12,794	5,283,311
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	422	—	422	159,265	159,688
計	4,403,203	741,910	125,824	5,270,939	172,060	5,442,999
セグメント利益	565,376	64,359	20,700	650,436	15,912	666,348

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業等であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年12月24日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式4,020株の処分を行っております。この結果、新株予約権の権利行使及び単元未満株の買取により取得した株式数を含め、当中間連結会計期間において自己株式が10,320千円減少し、当中間連結会計期間末において自己株式が118,927千円となっております。